

授業科目	西洋の音楽と文化				単位	2		
履修	選択	関連資格	日本語教員		ナンバリング	EN10106J		
開講年次	3・4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP3-1			
担当教員	金谷 めぐみ							
授業概要	<p>本講義では、西洋の音楽と文化を理解することで、西洋音楽の影響を強く受けた日本の音楽文化について考えます。まず、西洋の音楽文化と深くかかわりをもつキリスト教音楽について解説します。劇音楽など、世俗的な音楽文化についても作品を鑑賞しながら解説します。西洋の音楽と文化の発展を理解したうえで、日本のキリシタン期の西洋音楽と明治期の洋楽移入について解説し、日本における西洋の音楽文化について考えます。本講義を通してグローバルな視点から音楽文化について考え、自分の考えを他者に説明できるようになることを期待します。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 讃美歌に親しみ、指示された曲をさまざまな方法を用いて探すことができる。 2. 西洋音楽の歴史を学習し、キリスト教音楽の発展について説明することができる。 3. 西洋音楽の日本移入について理解し、音楽文化について自分の考えを他者に説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	20	50	0	20	10	100	
知識・理解 (DP1-1)			30		10		40	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)		20	20		10	10	60	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> ・西洋音楽の歴史的概観を理解し、講義で鑑賞した各時代の音楽の特徴について配布資料を用いて説明することができる。 ・キリスト教音楽の成立と発展について配布資料の他、書籍やインターネットで調べた情報を整理し、説明することができる。 ・身近な音楽をグローバルな視点から考え、音楽文化について自分の考えを説明することができる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教音楽の発展について配布資料を用いて説明することができる。 ・講義で解説・鑑賞した音楽作品の時代と成立過程について配布資料を用いて説明することができる。 ・身近な音楽文化について自分の考えを他者に説明することができる。 				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション 授業の概要について説明し、その履修方法や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を解説する。	シラバスを用いてオリエンテーションを行う	特になし	
2	古代の音楽 古代ギリシャで人間の生活と音楽がどのように関わっていたのかを解説する。	講義	復習：当該部分の復習	60
3	中世の音楽 中世ローマ帝国で制定されたミサ典礼音楽の内容について解説する。	講義	復習：当該部分の復習	60
4	中世の音楽 中世キリスト教礼拝で歌われる聖歌の音楽的特徴について解説する。	講義	復習：当該部分の復習	60
5	ルネサンスの音楽 キリスト教聖歌の多声化の流れについて解説する。	講義	復習：当該部分の復習	60
6	ルネサンスの音楽 宗教改革とプロテスタントの音楽について解説する	講義	復習：当該部分の復習	60
7	バロックの音楽 17世紀の劇音楽誕生の背景について解説し、オペラ「オルフェオ」を鑑賞する。	講義、音楽鑑賞	予習：オペラのあらすじを読む (配布資料)	60
8	オペラ「オルフェオ」鑑賞の続き。	講義、音楽鑑賞	予習・復習：ギリシャ神話を読む。	60
9	バロックの音楽 オラトリオ「メサイア」を題材にして、教会音楽オラトリオの成立について解説する。	講義	予習・復習：「メサイア」を鑑賞する。	60
10	古典の音楽 ウィーン古典派の楽曲を題材に18世紀の社会状況と音楽について解説する。	講義	予習・復習：講義の内容をふまえて「メサイア」を鑑賞する。	60
11	日本における西洋音楽① キリシタン期の音楽について解説する。	講義	復習：当該部分の復習	60
12	日本における西洋音楽② キリシタン期の西洋音楽について解説する。	講義	復習：当該部分の復習	60
13	日本における西洋音楽③ 明治期の洋楽移入について解説する。	講義	復習：当該部分の復習	60
14	日本における西洋音楽④ 明治期以降の音楽文化について解説する。	講義	復習：当該部分の復習	90
15	まとめ 本講義で扱った内容を音楽史年表を使って振り返り、総括する。	講義	復習：当該部分の復習	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	特になし			
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度プリントを配布する ・讃美歌を持参すること 			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	金澤正剛著「キリスト教と音楽」(音楽之友社) 片桐功、樽崎洋子、岸啓子、三浦裕子著「はじめての音楽史」(音楽之友社) 美山良夫、茂木博著「音楽史の名曲」(春秋社) フリードリヒ・ヘルツフェルト著渡辺譲訳「わたしたちの音楽史」(白水Uブックス)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で鑑賞した音楽作品を授業以外でも鑑賞する ・チャペルアワーに出席して、讃美歌を歌う 			
達成度評価に関するコメント	小テスト(讃美歌について)、レポート(音楽文化について)、レポート以外の提出物(作品鑑賞の感想)、その他(コメントカード)により評価する。 レポート等の課題内容については授業の中で指示する。			